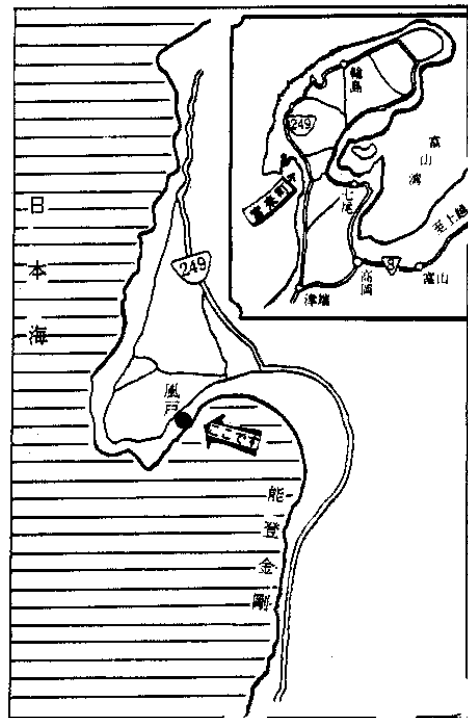


# 本報 まつやま

785

No.63



## 海で育ち 山に嫁ぐ日

■発行/松之山町

■編集/議会事務局

■印刷/沢田印刷KK



▼竹内伸之さん

わたしの名前は悦子。今日(4月28日、大安)伸之さんのもとへ嫁ぎます。

妙高山のふもとへスキーに来たとき、宝石のような「星」の輝き、それに「冬景色」……。

今でも印象に残り、想い出日記の一頁になっています。

生まれ、育った石川県富来町。雪は少し積る程度。海の幸が沢山、山の幸も……。

すぐそばに小説「ゼロの焦点」で有名になった能登金剛。作家加能作次郎の碑があります。

海で育ち、山に嫁ぐわたし。どうぞよろしく。

人は誰でもその生涯の中に一度ぐらい自分で自分を幸福に思う時期をもつものである。―加能作次郎の碑―

17億1,824万4000円

# んな事を 東川に防雪センター 松里に保育所

本年度予算の骨子は、産業基盤の整備、振興を最重点に、道路、教育文化、福祉など生活に関係したことも整備、拡充を図ることになりました。

部内では経費の節減に極力努め、「魅力ある町づくり」に向け、歩むことになりました。

予算規模は、全会計を合わせて二十三億千六百七十四万五千円となり、昨年に比べ、二億四千七百万円余り、一・九%伸びたことになりました。

このうち、一般会計分は十七億千八百二十四万四千円で二九・二%増となりました。

伸び率の順では①災害復旧費三五〇%②民生費一五九%③土木費一四七%④農林水産業費一三八%⑤公債費一二四%となります。

## 東川に防雪センターを



この費用は町の総体的な事務を行うための経費です。

今年には町制施行二十周年・自然休養村事業の完成を記念して、いろいろな事業が計画されています。その一つ「記録映画」の作成経費三百万円が含まれています。

また、昨年見送りになった布川地域に建設される「防雪センター」新築事業費の第一年度分三千二百七十万円があります。

- ▶ 財政調整積立金 400万円
- ▶ 20周年記念事業費 400万円
- ▶ 赤字路線バス補助金 97万円
- ▶ 税事務電算委託料 163万円
- ▶ 知事選挙費 122万円
- ▶ 保安要員活動費 991万円

## 松里保育所の新築

- ▶ 上越ミニコロニー負担金 87万円
- ▶ 町単身障児者、精神障児者医療費助成 86万円
- ▶ ホームヘルパー、老人相談員賃金 147万円
- ▶ 松寿荘運営費 217万円
- ▶ 常設保育所費 1,972万円
- ▶ へき地保育所費 1,508万円
- ▶ 郡特別養護老人ホーム負担金 100万円
- ▶ 児童手当 1,080万円。



生活に恵まれない人、おとしよりの人、保育所のことなど社会の福祉を推進するための経費です。

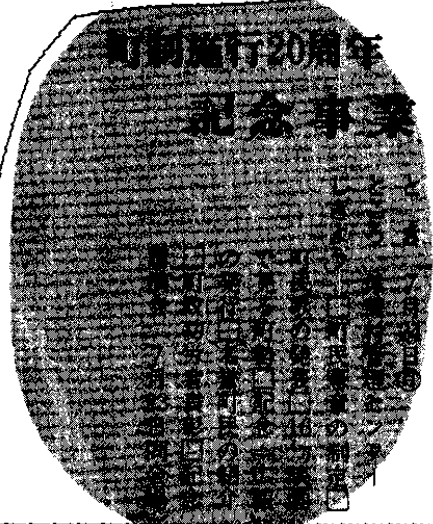
国保会計へ六〇〇万円援助するほか、老人や障害者のための医療費助成に三千八百七十一万円。松里保育所新築事業費として五千九百七十一万円を見込み、児童福祉の向上を図ることになりました。



病気の予防、妊娠婦を含む母子の健康管理、こみ収集のことなどの運営費です。

診療所勘定へ九百万円、簡易水道会計へ三百九十万円それぞれ繰出します。

成人病、結核予防などの検診費四百五十六万円。患者輸送用マイクロバスの更新費二百十五万円。



出稼ぎ者への福利、厚生を含む援護対策の経費です。「ふるさとだより」の印刷代四十四万円、地方新聞（新潟日報の予定）を出稼ぎ先で購読して頂く費用四十万円。



町の主産業である農業関係の生産基盤整備などの経費です。

耕土培養資材（ケイカル、鉄げんなど）の補助金として百六十万円。

農林水産物直売施設設計及び工事費九千二百八十六万円。この施設に使う備品代八百五十四万円。

町森林組合第二次林構事業補助金千五百十万円。東山団地造林保育など委託料千九百七十八万円。

二次林構事業（第二次林業構造改善事業）工事費四

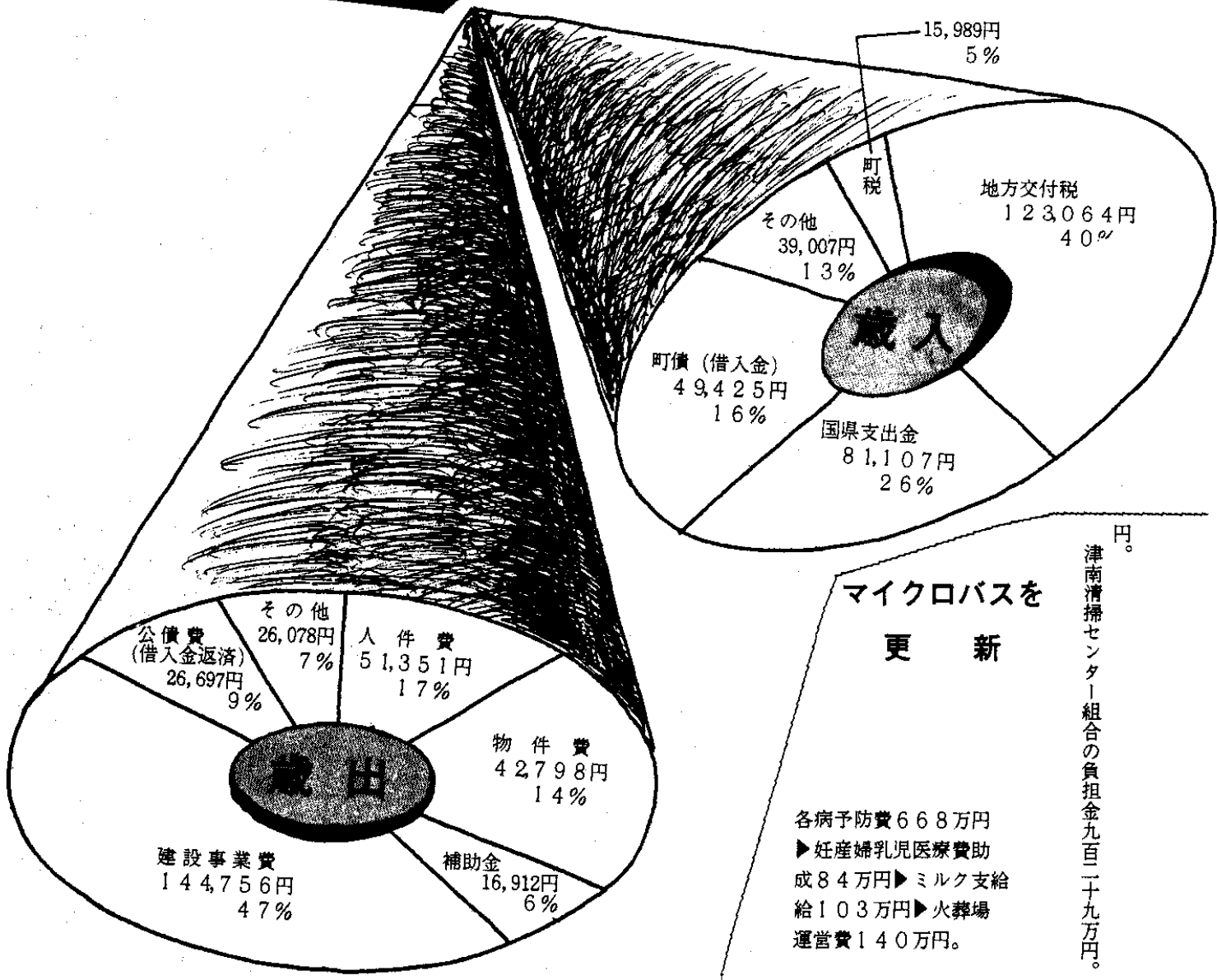
ふところの中味は

私たち1人当り

308,593円

(人口5,568人……53.4.1)

# ことしはこ



## マイクロバスを 更新

各病予防費668万円  
 ▶妊産婦乳児医療費助成84万円▶ミルク支給給103万円▶火葬場運営費140万円。


津南清掃センター組合の負担金九百二十九万円。

農業共済特別会計繰出金280万円▶牧場原材料費166万円▶肉用牛導入事業基金繰出金140万円▶水田利用対策費149万円▶治山林道協会負担金203万円▶林道菱ヶ岳線開設負担金350万円▶峰越林道開設負担金400万円▶藤倉地区確定測量委託料325万円▶天水越実地測量委託料189万円▶田麦立農道実地測量委託料250万円▶同農道用地代230万円。

千五百六十四万円。  
 林道開設、舗装工事費三千八百三万円。  
 松里かん排事業地形図作成委託料など千六百五十万円。町単田ならし等補助金四百六十九万円。農道東山線工事費二千五百万円。  
 川手、西之前地区ほ場整備工事費七千八百万円。藤倉、天水越地区ほ場整備工事費三千八百万円。  
 田麦立農道、中立山農業用水路修繕工事費六千五百三十万円。

### 社会科の副読本

作成 小・中とも



児童生徒の学校教育、成人教育とあらゆる教育関係の経費です。

ジープ一台更新（ジーゼル車）百二十万円。社会科副読本製作費（小・中とも）二百二十万円。

浦田小プール修繕費七百二十五万円。スクールバス運行委託料二百五十六万円。

教育費

就学・通学補助金（小・中とも）五百七十六万円。

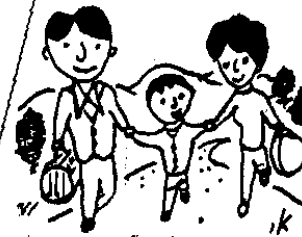
高校寄宿舎運営費110万円  
 ▶三省小（屋体）地質調査委託料50万円  
 ▶吹奏楽器購入費45万円  
 ▶いざり織原材料費4万円

町の商工業の振興、主に観光施策の経費です。

松之山温泉の配湯管伏設工事費三百六十万円。温泉駐車場の消雪設備工事費四百五十万円。

土木費

▶地場産業育成資金貸付金400万円  
 ▶町商工会補助金160万円  
 ▶案内板、標識修繕料50万円  
 ▶松之山温泉観光パンフレット印刷代40万円  
 ▶移動式便所1基15万円  
 ▶町観光協会補助金180万円  
 ▶温泉配湯伏設工事費補助金150万円。



消防団の組織を育成、施設の充実、運営の費用です。上越地域消防組合負担金三千三百万円。浦田の「火の見やぐら」改築工事費七十万円。

土木費

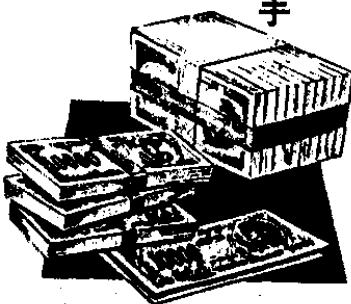
▶防火水槽4基600万円  
 ▶小型ポンプ1台87万円  
 ▶ハッピー50着22万円  
 ▶消防道路補助金20万円  
 ▶ホース購入34万円  
 ▶ポンプ舎建設補助金35万円  
 ▶草葺屋根改造補助金40万円  
 ▶婦人会消防活動委託料6万円



### 借金上手は やりくり上手

財源が乏しいため借金をしていろいろな事業をやっています。元金、利子の返済費です。

今年返済する元金は六千七百二十万円で、利子は八千七十九万円の予定です。



私たちの生活道路、橋の整備費です。

最近ナマコン舗装の要望が強くなっています。この経費が千五万円。町道の改良、舗装工事費一億二千四百九十万円。

県道の改良、舗装工事負担金千七百四十三万円。

中立山川平橋の架替工事費七百万円。上蝦池の防雪

土木費

▶町道損害補償保険料26千円  
 ▶もく坂舗装修繕工事280万円  
 ▶町道舗装工事施行箇所  
 光間419m 新山280m  
 天水越364m 樋田～崩田390m  
 水梨210m  
 ▶町道改良施行箇所  
 黒倉480m 小湯谷500m  
 兎口540m 湯之島320m

柵設置費五百五十二万円。除雪用などブルドーザの燃料、修繕費千五百四十一万円。除雪機械（タイヤ）一台購入千五百四十万円。

雪上車一台更新六百六十八万円。

# とくくべつ会計

## 国保

助産費60,000円、葬祭費15,000円は据置くことになりました。

老人医療、高額療養給付などの公費負担による医療費、1件当りの医療費の伸びは、落ちつきを見せ始めています。

このことが、本年度の国保税負担に大きな影響をもたらしています。

前年度に比べ被保険者数、世帯数が減ったものの国保税は1人当り11円の引上げにとどめ、一方世帯当りでは1,136円軽減することになりました。

予算の財源構成比では、国保税25%、一部負担金15%、国県補助金が56%を占め、この会計でも国県の援助を必要としています。

経費の節減に努め、引続きみなさんから国保事業の育成、健康管理について深いご理解とご協力を頂きたいと思ひます。

## 診療所

予算額は、松之山1億7,827万円（前年比4.9%増）浦田3,340万円（前年比1.7%増）で、運営する予定です。

松之山は五十嵐先生の体調が懸念されますが、診療収入を1億7,174万円見込みました。

入院患者用にエアコン1台24万5千円、二階便所工事費に70万円でそれぞれ整備し、サービスに努めます。

浦田は綿貫先生が高令にむち打ってへき地医療に尽力頂いています。看護婦が1名退職したにもかかわらず診療収入1,635万円見込みました。

両診療所とも施設の近代化、設備の充実を図りながら、患者のみなさんによりよい診療ができるよう努めてまいります。

2ヶ年にわたり工事を進めてきた「松里地区簡水」も昨秋から給水を開始しました。このため、予算規模も対比1億3,462万円、85%の減となりました。

これにより、給水人口は町全体の48%になりました。

一方、建設費は借金により行っているため、その償還金が予算総額の55%を超えることになります。

独立採算制的に運営していくには、利用者に極めて高い負担を求めなければなりません。

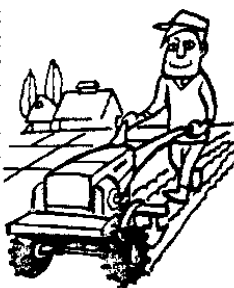
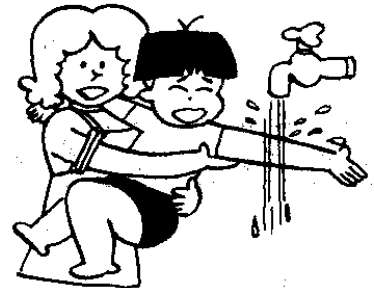
反面、同じ町に住み、同じ水を飲んで料金が違うという不合理を解消するためには、使用料金を僅少ずつ引上げても採算割

## 簡水

れを防止する必要に迫られています。

こんな「ふところ具合」ですから、今年度も一般会計から390万円繰入れることになりました。

雪の落し子「水」は、松之山の偉大な財産です。限りある資源を大切に使いましょう。



農作物共済は、農政をとりまく厳しい環境の中で、毎年堅実なふとこの具合を維持してきました。水稲では1kg当りの共済金額を二百八十一円とし、災害時により多くの補償を考慮しました。この結果、補償割合は七五%から七八%に引上げることになりました。家畜共済は、事故率が減少の一途をたどってきたことから掛金率が引下げになり、一層加入し易くなりました。蚕繭共済についても、共済金が一箱当り四千円増額になりました。これらは国庫負担の大巾な改善が行われ、加入者の負担が軽くなりましたので、家畜一頭当り共済金額の引上げと全頭加入を目標にご協力頂きたいと思ひます。このほか、無事戻し金、防除機具の半額補助、婦人講座などを計画して予算総額は四千百三十四万円（前年度比八%増）となりました。

## 共済

# 人を呼ぶ



図 想 予 想 発 刊

かつて成人式でアンケートをとったことがある。その回答の一つ、彼らは「町内に年間通じて働ける職場があれば、帰りたい」と望んでいることが判った。わが町の立地条件からして、第二次、三次産業の発展は望めないと言える。

残った一次産業に従業に従事しても所得の向上が図れず、冬期間の出稼ぎ、夏期の日雇いで生活を維持するという極めて「不安定」な経済動向が定着してしまった。

## 林業振興のねらい

### 働く場所の確保

「過疎からの脱出」人口は、昭和四十五年から五十年の五年間に二〇%近く減少してしまった。

「農業、林業」まず、自然を生き、今後は産業の振興に努力したい。町長以下フル回転で知恵をしぼっています。

○自然休養村事業○土地改良事業○林業構造改善事業……と近年予算の占有率は一位であり、他を圧倒しています。

ほ場を整備し、余剰労働力を林業に向け、冬期間の出稼ぎ解消、若物が定着出来る町づくりの一策にしたいとしている。

これが、二次林構の使命であり、ねらいです。

具体的な事業は別掲のとおりで、施行場所は次のように予定されています。

- ▽スギの新植団地
- 田麦立 九十三ヘクタール
- 布川 九十三ヘクタール
- ▽キハダ団地 浦田字亀石地内

### 働く場所の確保

▽コウソ団地 大荒戸字峠地内 湯山字笹野地内

▽林道開設 田麦立団地内

▽基幹作業道開設 布川団地内

▽作業棟 役場庁舎脇

▽木炭生産施設 天水越地内 農免農道脇

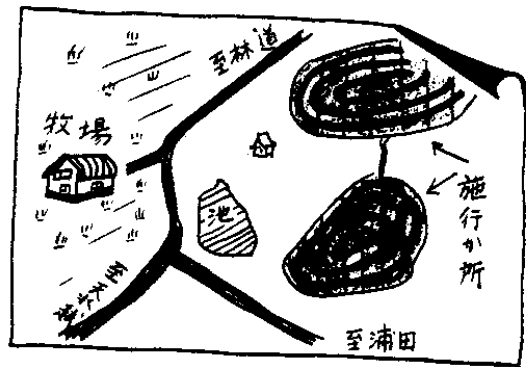
▽その他の施設、事業 大蔵寺原牧場入口にある池の周辺(浦田側)

## 林業経営を充実

以上の事業費合計は一億八千万円で、五十二年度から五十五年度の四カ年で施行します。

森林組合の資本、組織の強化を図り、林業経営も植栽から伐採まで長期にわたり受託することによって、集約育林が可能になります。

また、道路網の整備が急務であり、林道、基幹作業道などを



開設することによって、作業能率の向上を目指します。

## 機動力の強化

町内の民有林はどれくらいあるだろうか。概ね四十一万七千立方メートル(およそ百四十九万石)畜積すると推測されます。今後、人口造林を積極的に推進し、将来年間素材生産量一、五〇〇立方メートルを目標にします。

町外から移入している木材を自給できるよう製材業者に斡旋して林業就労者の増加を図ります。

また、造林によって生ずる低質な広葉樹で木炭を生産します。林業経営の安定的発展の基盤

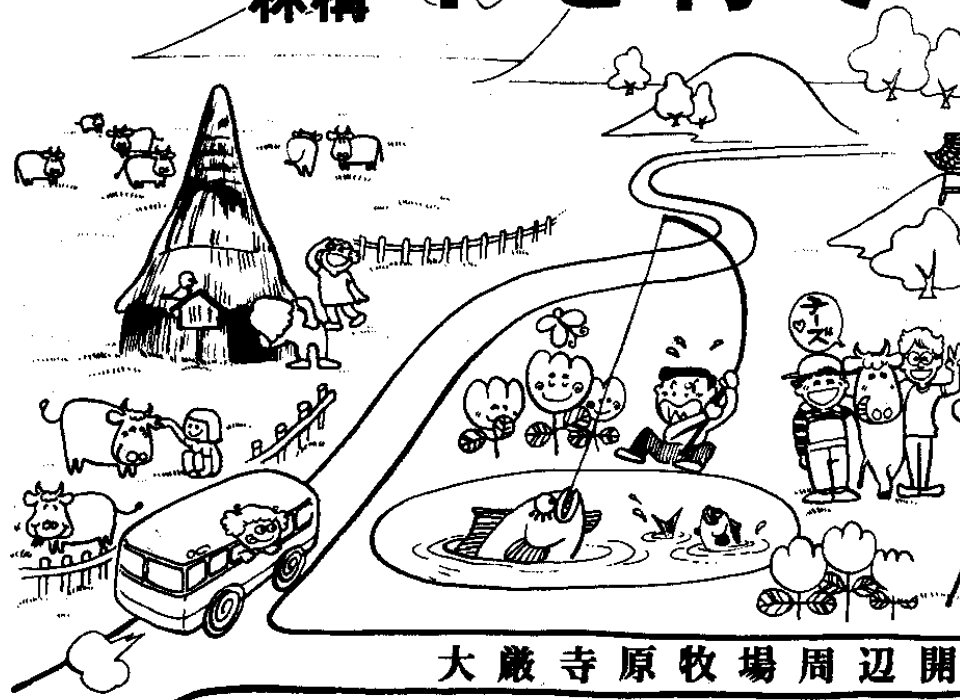
これらの額に満たないときは、納めた所得税額。例夫婦に子1人の人…12000円。還付方法給与所得者…勤務先

# 二次林構 木を育て

## 年度別の主な事業

(単位千円)

| 区分<br>年度            | 事業名                               | 事業費    |
|---------------------|-----------------------------------|--------|
| 52                  | スギ植栽(田麦立) 5.7 ha                  | 4,670  |
|                     | 人員輸送車(9人乗り)                       | 1,050  |
|                     | 木炭生産施設(1棟)                        | 2,600  |
|                     | 作業用建物(1棟)                         | 19,785 |
| 53                  | 作業道(野尻線 $L=1,100m$<br>$W=4m$ )    | 14,900 |
|                     | スギ植栽(田麦立) 5 ha                    | 8,558  |
|                     | トラック3t(クレーン付)1台                   | 3,600  |
|                     | トラクター7t 1台                        | 7,254  |
|                     | 管理道路( $L=920m$<br>$W=4\sim3.6m$ ) | 18,680 |
|                     | 駐車場(3,620 $m^2$ )                 | 13,720 |
|                     | 村間広場(3,660 $m^2$ )                | 1,020  |
|                     | 炊事施設・給水施設                         | 10,100 |
|                     | 便所                                | 3,300  |
| キャンプ場(7,400 $m^2$ ) | 2,080                             |        |
| 54                  | 林道(城の越線 $L=500m$<br>$W=4m$ )      | 8,000  |
|                     | スギ植栽(5 ha)                        | 3,908  |
|                     | 管理道路( $L=580m$<br>$W=3.6m$ )      | 2,740  |
|                     | 林間歩道( $L=2,500m$<br>$W=1.5m$ )    | 3,750  |
|                     | 総合案内施設(1棟66 $m^2$ )               | 4,026  |
| 55                  | 林道(城の越線 $L=300m$<br>$W=4m$ )      | 9,100  |
|                     | トラック(3t)                          | 3,600  |
|                     | バンガロー(10棟 $\times$ 9 $m^2$ )      | 3,110  |
|                     | 花木植栽(5,000 $m^2$ )                | 500    |
|                     | 修景施業(1.6ha)                       | 500    |



## 大蔵寺原牧場周辺開

は、造林面積の拡大が前提です。造林保育の推進、植栽における立地条件から階段造林の必要性など労務班の輸送に車を導入します。

また、これらの事業を円滑に遂行するため、機械力を増強します。

### 森林は二つの顔をもつ

小規模経営から脱皮し、厳しい林業情勢をのり越える必要があります。

それには、協業計画に基づいた森林開発、労働力の適正配分などを森林組合が主体となって計画を樹立、その促進にあたります。

森林には生産機能と保健休養の二つの顔がある。後者を社会的要請と経営の近

代化を図るため、風致、保護、休養などの施設を整備します。これによって、町内外の住民が自然に親しみ、関係者の所得向上に役立たせたい。

また、十三・五ヘクタールには早期特用樹種としてキハダハ・五ヘクタール、コウソウ五ヘクタールをそれぞれ育成し、その間に自生するゼンマイ、ワラビなど一連の山菜を併せて販売する。

冬期間には、その木を加工する雇用制度を確立して収益の増大と若者の定着を図りたい。

### 作業班の基地

町内における森林組合への依存度は高い。林業経営の近代化を図る労務班の育成強化の場として、作業

班の育成強化の場として、作業

用建物を建設します。この施設では、労務班の技術習得、研修、憩いの場として活用します。

### 副産物の活用

松里地域の山林面積は広大である。以前、当地での木炭生産量は町全体の六〇%を超していた。

ところがエネルギー革命により、衰退の一途をたどっている。今日需要は町外に頼っています。造林によって伐採する雑木の有効利用で木炭を安定供給したい。

なお、この伐採は夏期に集材し、冬期間に製炭することによって出稼ぎ解消にも役立てたい。また、倉庫を建設して雑木、つるなどを利用した民芸品の販売を行い所得の向上に結びつけたい。

〔二次林構計画書より〕



所得税の減税により、次の金額が還付になります。本人…6000円 配偶者、扶養親族1人につき…3000円。ただし、税額がから、事業所得者(確定申告者のみ)…税務署から通知があります。詳しいことは、税務署もどし税の係へ(☎上越23-4171)

新助役誕生

前総務課長 保坂誠司さん

定例会

町議会は三月九日、定例会を開催し、十一日に三日間の幕を閉じました。九日・十日の両日、婦人会の有志など沢山の方がたが傍聴に見えました。どよめきもなく、静まりかえる傍聴席の二日間。

一方、議場では九日、夕方まで町長の施政方針を始め提案説明。翌十日、七人の議員が一般質問を行いました。十一日には、残った議案を上程、採決して全議案が原案どおり可決しました。

なお最終日の十一日、しばらく空席になっていた助役に前総務課長の保坂誠司さんが決まりました。

今会で承認、可決したものは二十五件、同意が一件でした。

▽特別職で非常勤の者の報酬・費用弁償額の改定

別表のように改正しました。  
(なお、○印は据置き。議会議員は、一月分から引上げになりました。)

▽町三役、教育長の給与を改定

町長 三四〇、〇〇〇円  
助役 二七一、〇〇〇円  
収入役 二五六、〇〇〇円  
教育長 二三五、〇〇〇円  
(一月分から引上げになりました。)

▽職員の旅費額を改定

日当のみを改定。  
町四役 県内 一、一〇〇円

▽火葬場の使用料改定

職員 県内 一、〇〇〇円  
県外 一、一〇〇円

▽育児休業給の支給

育児休業の期間中に、一定割合の額と共済費などの合計額を支給します。

▽消防団員の給与、出勤手当を改定

一般団員報酬 五、〇〇〇円  
出勤手当(二回目) 一、二〇〇円  
など、概ね八%弱の引上げになりました。  
なお、婦人団員は無報酬となりました。

▽火葬場の使用料改定

火葬料(十二才以上の者) 一体につき 九、〇〇〇円

▽町道の認定替え

全部で十五路線。この中には西之前的農道が新しく認定になりました。

▽簡易水道の使用料を改定

湯本の超過料金が二十円に、湯山の基本料金が平均九%引上げになり、超過料金は六十円に改定になりました。

▽農業共済から無事もどし金の支払い

農家一戸平均一、八二〇円程度もどされることになりました。

▽松代町との伝染病害組合の解散について

県立松代病院が改築になったことにより、伝染病が発生した場合、県立十日町病院で隔離してもらおうことになりました。

| 職名            | 報酬額        | 職名         | 報酬額          |
|---------------|------------|------------|--------------|
| 議会議長          | 月額 89,000  | 青少年問題協議会委員 | 年額 4,000     |
| 議会副議長         | 月額 73,000  | 社会教育委員会委員  | 年額 4,500     |
| 議会常任委員長       | 月額 69,000  | 公民館運営協議会委員 | 年額 4,000     |
| 議会議員          | 月額 65,000  | 文化財調査審議会委員 | 年額 4,000     |
| 農業委員会委員長      | 年額 100,000 | 体育指導員      | 年額 4,000     |
| 農業委員会委員長代理    | 年額 77,000  | 交通指導員      | 年額 24,700    |
| 農業委員会委員       | 年額 70,000  | 共済損害評議会委員  | 年額 6,500     |
| 農業委員会委員(議会選出) | 年額 54,000  | 換地評価委員     | 年額 4,000     |
| 教育委員会委員長      | 年額 100,000 | 選挙管理委員長    | 職務回につき 5,000 |
| 教育委員会委員       | 年額 70,000  | 投票管理者      | 職務回につき 5,000 |
| 監査委員学識経験者     | 年額 80,000  | 開票管理者      | 職務回につき 5,000 |
| 監査委員議会選出者     | 年額 54,000  | 投票立会人      | 職務回につき 4,000 |
| 選挙管理委員会委員長    | 年額 46,000  | 開票立会人      | 職務回につき 4,000 |
| 選挙管理委員会委員     | 年額 38,000  | 選挙立会人      | 職務回につき 4,000 |
| 固定資産評価審査委員    | 年額 4,000   | 部落囃子員      | 年額 3,441.150 |
| 消防委員会委員       | 年額 4,000   | 公民館長       | 年額 65,000    |
| 国保運営協議会委員長    | 年額 6,500   | 冬期集落保安委員   | 月額 80,000    |
| 国保運営協議会委員     | 年額 5,000   | 費用弁償額      | 1日につき 2,000  |

請願

▽町道東川・藤倉・天水越線の藤倉部落内の改良について  
(藤倉部落総代、小野塚半平さんほか)





町議会の臨時会は、三月二十八日招集になり、一般会計を含む町四会計の補正を行いました。  
これは、国庫からの補助金などが決定になったことにより補正したものです。条例の一部改正など八議案、町監査委員の選任をしました。

# 臨時会

## 町監査委員

ばとんたつち



村山正英さん

自然センターの備品購入  
二〇〇万円

二〇〇万円

▽一般会計補正予算(第八回)

三、四一九万三千円を追加

これまで八回補正し、総額は十三億九千二百五十一千円になりました。

補正の主な内容は次のとおりです。

入る金は、町税三〇〇万円、自動車税関係二七〇万円、地方

改良・舗装は公会堂まで行うのが望ましい。その先は検討する。

三省校・大荒戸線の改良を今年完成してほしい

五十五年完成を目途に努力するよう要請する。

松之木・湯田地区のほ場整備について

ミニ総パ事業で実施するよう予算措置がされていたので、了承することになった。

交付税のうち、特別交付分一、六六〇万円、町債が確定し新たに六六〇万円増えたほかは、減額になりました。

使う金は、年度末になり、それぞれ残った額を整理するものが大半で、特に県知事選挙費が新しく六〇万円、休養村センターの備品に二〇〇万円、林道菱ヶ

岳線の負担金二二二万円、町森林組合補助金一二七万円、除雪ブル修繕料四〇〇万円などとなっています。

▽老人いこいの家使用料を改定

今年度、新たに五十人以上の団体が利用した場合五、〇〇〇円から一五、〇〇〇円の使用料を納めていただくことになりました。

▽土地改良事業などの施行

今年度は、東山で農道工事を行うほか、合わせて九か所土地改良事業を行います。

○東山農道舗装 二五三二万円  
○川手区画整理と橋 六三九一万円

○西之前区画整理二八三六万円  
○田麦立区画整理と農道 六二九〇万円

○中立山水路補修 九三〇万円  
○藤倉区画整理 一五一九万円

○天水越区画整理二九三三万円  
○松里かん排地形図作成 一五九〇万円

▽国保特別会計(第四回)

国保勘定は一〇〇万円減額、松之山診勘定は八〇〇万円を減額し、浦田診勘定は二〇〇万円を追加して総額三億一千七百四十万円となりました。

この会計も年度末になり、保険税、一部負担金、国庫支出金などが確定したことにより、補正したものです。

▽簡水会計(第四回)

総額に変わりはなく、一時借入金の子が不足になり、十六万三千円追加補正することになりました。

▽農業共済会計(第二回)

業務引当金から一三〇万円流用してジープを更新します。総額は四、〇七六万四千円となりました。

▽町監査委員に村山正英さん

佐藤重竜さんが都合により辞職されましたので、その後任に村山正英さんが選任されて、四月一日から監査委員として活躍していただくことになりました。

# ゆくえ

町道中立山地内の改良と川平橋のかけかえについて

部活の意向を再確認し、本年度測量するよう要請する。

町道藤原地区内の改良について

来年度改築に向け、本年度県から老朽度などを調査してもらおう。

三省小の屋体改築について

改良は地元と充分協議の余地がある。橋は永久橋か木橋か検討の上、本年度着手してほしい。

## 実施にむけ GO⇕7件

本年度測量し、町道として改良を

已之下線を町道で改良を

良することが望ましい。

その場合、本線の効果を考慮して巾員は五メートル必要である。

町道大荒戸地区内の改良・舗装について

ことし松之山にきました

# どよろしく



松之山中  
本山校長先生



松里小  
斎藤校長先生



東川小  
佐久間校長先生

(順不同)



三省小  
松岡校長先生



浦田小  
小笠原教頭先生



松之山小  
職員先生



松之山小  
丸田先生



浦田中  
上野先生

## わからないようで わかった話

### 木材引取税

葉子 実は税のことで、一寸教えてもらいたいんですが……。  
樹一 何税ですか？  
葉子 ……。自分の木を切つて、なぜ税がかかるのか教えてもらいたいです。  
樹一 それは「木材引取税」というんです。

葉子 あー、それで自分の木を切つて使うと持ち主が「最初の人……」になる訳ね。  
樹一 そうです。そのように「最初の引取者」から納税してもらうことになりました。  
松子 じゃ、売ったときはどうなるのかしら？  
樹一 その場合は、買った人が「最初の人……」になります。



で買って人から納めていただきます。  
なお、この「木材引取税」とは別に伐採した場合、自家用、販売を問わず「山林所得」として申告していただきます。  
葉子 その税や所得は、どのように算定されるのですか？  
樹一 まず、木材引取税は見積価格に二%の割合で算出します。山林所得は、見積価格が五十万円を超えた場合、申告していただきます。その場合、特別控除額として五十万円が控除になります。  
税率も他の所得より低く、特別に優遇されています。  
伐採した人、販売した人は、役場へ届けてもらうことになっています。

## ネエ「先生」おしえて!!

### 県から社会教育主事が来町

この程、県の教育委員会から社会教育主事として、佐藤喜和治(写真)先生が赴任されました。



先生から三か年間、町の社会教育における計画、指導をお願いすることになりました。

「学校教育」に対し、「社会教育」は青少年から老人までその分野が広く、どの町でも重要性は認識していたものの、足

## 今年の部落総代さん

- |      |       |     |       |       |       |      |      |      |     |       |       |      |       |      |       |     |       |       |      |      |       |      |        |       |      |      |       |       |
|------|-------|-----|-------|-------|-------|------|------|------|-----|-------|-------|------|-------|------|-------|-----|-------|-------|------|------|-------|------|--------|-------|------|------|-------|-------|
| 坂中   | 月池    | 田立  | 中島    | 湯之島   | 上の山   | 新田   | 曾根   | 藤原   | 東山  | 赤倉    | 坪野    | 五十子  | 下飯池   | 上飯池  | 東川    | 中尾  | 藤倉    | 松里    | 湯山   | 上川手  | 下川平   | 大荒戸  | 小谷     | 水梨    | 新山   | 光間   | 兔口    | 松之山   |
| 竹内   | 保坂    | 本山  | 佐藤    | 妻島    | 畔上    | 久保田  | 本山   | 食重   | 渡辺  | 村山    | 福原    | 志賀   | 大見    | 小野塚  | 小野塚   | 樋口  | 佐藤    | 福原    | 小口   | 滝沢   | 志賀    | 高橋   | 相沢     | 中島    | 山岸   | 小野塚  | 大見    | 村山    |
| 信幸   | 義一    | 健市  | 富義    | 清     | 力郎    | 年松   | 義政   | 良司   | 虎雄  | 重雄    | 辰治    | 重信   | 勝平    | 勝平   | 塚保夫   | 虎雄  | 良道    | 庚造    | 信栄   | 彦作   | 鶴治    | 伸    | 達雄     | 喜子    | 留作   | 留作   | 正武    | 俊治    |
| (栴屋) | (豆腐屋) | (沢) | (権べえ) | (清九郎) | (田の助) | (前田) | (政六) | (甚内) | (南) | (上宮田) | (念根木) | (重屋) | (そりめ) | (七院) | (山木屋) | (下) | (正法寺) | (十一屋) | (佐七) | (丸や) | (崎の島) | (大杉) | (日の出屋) | (三益屋) | (大下) | (大下) | (朝もと) | (武蔵屋) |

(敬称略)

わたしたち

# どう

転入先生



松之山中  
竹田先生



松之山小  
吉沢先生



松之山小  
長野先生



川手分校  
丸山先生



三省小  
山岸先生



松之山小  
笠原先生



松里小  
外立先生



松之山中  
村山先生

3 手続きをしないと  
手続きを。  
など——販売店などを通じ、

## 車は1台しか……税金は2台分

### —自動車税—

3 手続きをしないと  
手続きを。  
など——販売店などを通じ、

●県・町外ナンバーの車は……住所が町内に有る方で、県、町外のナンバープレートをつけた車があります。法律で、十五日以内に手続きをすることが、義務づけられています。

取得すれば、その年は無税。廃車しても、税はもどりません。2県ナンバーは……取得すれば、月割納税。廃車すれば、税が月割でもどります。

春から初夏にかけて、車の移動が増加します。これに関連した手続きを済ませないため、トラブルが多いのもこの時期です。●申告の期限は……1取得、申告内容に変更があった場合十五日以内

課税は、四月一日現在の所有者に対しされますから、その年分の納税をしなければなりません。●四月二日以後の移動と納税1町ナンバーは……

み状態でした。最近になって漸く職員も充実し、その活動が見られるようになりました。「豊かな人間づくり」は「豊かな環境」で育つ、と言っても過言ではありません。施設の整備に併せ、今後は「人づくり」の輪を広げることになります。

五月 高気圧に覆われて晴天の日が多い。平均気温は平年並かやや高く、降水量は並かやや少ない。日照はやや多い見込みだが、一時天気の不ぞろい期間もある。

うよも空 5月 はれ 6月 はれ時々曇り 7月 雨のち晴

新潟地方気象台

六月 比較的晴れの日が多い見込み。後半は梅雨らしい天気となる。平均気温は並かやや低

く、降水量、日照とも並。七月 前半は梅雨前線の活動が活発となりそう。夏らしい天気となるのは下旬の見込み。平均気温は並で、降水量は並かやや多め。また、日照は並の見込み。梅雨明けは平年並か、二十日前後となりそう。

### ⑤地すべり巡視員の顔ぶれ

今年、次の方がたから地すべり巡視員として、ご活躍をお願いすることになりました。

樋口 秀雄さん(兎口・再任)  
石塚 清丸さん(田麦立・再任)  
福原 一雄さん(天水越・再任)  
久保田年松さん(新田・新任)  
小野塚半平さん(藤倉・新任)  
志賀 規男さん(松口・新任)  
志賀 勝治さん(五十子平・新任)

### 運転免許証の更新日

■とき 5月19日 6月16日 7月21日 8月18日

■ところ 松代町総合センター

■わからないこと ☎3131 免許更新の係

崩田 保坂儀八郎(儀平)  
樋田 竹内正男(勤助)  
北浦田 早川賢司(大下)  
西之前 南雲機一(新屋)  
黒倉 布施源一郎(大井)

# しょくいんのいどう

新採用 5 人  
退職 2 人



丸山 いずみ



佐藤 功



相沢 恵一



久保田 雅夫



松沢 末美

町では、次のとおり人事異動を行いました。(順不同)

**異動**

- ▽久保田正敏 (産業課長↓総務課長)
- ▽丸林 哲二 (公民館長・社会教育係長兼務)
- ▽小野塚与芳 (産業課農政係↓同課農政係長)
- ▽佐藤 昇 (農政係長↓産業課農林施設係補佐)
- ▽村山 俊介 (産業課長補佐)

**退職**

- ▽保坂 誠司 (総務課長)
- ▽植木 誠一 (収入役室)
- ▽飯塚シズ子 (浦田診・看護婦)

**新採用**

- ▽佐藤 功 (産業課・農政係)
- ▽久保田雅夫 (収入役室)
- ▽相沢恵一 (産業課・農政係)
- ▽丸山いずみ (総務課・税務係)
- ▽松沢末美 (松之山保育所保母)

四月一日から水田の標準小作料が改正になりました。

町農業委員会では、農林省が定める「統制小作料」の外に町内の「標準小作料」を設けています。

これは、三年に一回、国の経済状況、農業の動態の外、町農業の実態を勘案して改正します。

今回の改正により、新しく五一〇kgと五四〇kgが追加になり、これで町内六地域に分けられることになりました。

**最高**  
9俵  
二七、七〇〇円

**小作料が改正**

―四月一日から―

## 改訂後の標準小作料

|              |         |
|--------------|---------|
| 第1地区 (540kg) | 27,700円 |
| 第2地区 (510kg) | 23,500円 |
| 第3地区 (480kg) | 19,600円 |
| 第4地区 (450kg) | 16,700円 |
| 第5地区 (420kg) | 12,700円 |
| 第6地区 (390kg) | 9,700円  |

貸人、借受人の双方がよく話し合い適正な小作料を決めて下さい。

最近「やみ小作」などをしていたため、農業者年金や離農給付金をもらえない人が続出しています。

「小作契約」は適法に結び、こんな悲劇を一つしましませう。

「小作料」について、詳しくお知りになりたい方は、町農業委員会事務局へ。

たばこは  
町内で  
買いましょう



草村美枝子 (湯山・茂の長女)  
村山 智 (橋詰・光義の二男)

**新婚さん**

△鈴木 一治 (下蝦池・上根)  
平島小夜子 (熊本県)

小野塚一弘 (東川・秀一の長男)  
田辺 和美 (新田・馨の長女)  
重野美香子 (上蝦池・信幸の二女)  
小野塚寿子 (湯山・茂の二女)  
樋口 公博 (湯本・良男の長男)  
小野塚理香 (東川・孝雄の長女)  
福原 稔 (小谷・利義の二男)  
大見 裕香 (下蝦池・文男の長女)  
小野塚ゆきみ (藤倉・富夫の二女)  
〃 咲江 (東川・正司の長女)  
村山 和典 (湯本・健の長男)  
久保田 理 (藤原・勇の長男)  
布施 裕幸 (松之山・長一の長男)  
村山 光志 (橋詰・良一の二男)  
〃 垂矢 (北浦田・二三一の二女)

樋口 フク (湯山・伴助)  
保坂市次郎 (46) (樋田・もく院)  
竹内 シヨ (75) (新田・はんにん)  
福原 キミ (59) (天水越・沖)  
〃 アキ (80) (〃・〃)  
小野塚理香 (0) (東川・沢)  
高橋 源作 (70) (天水島・助基)  
〃 タイ (75) (中尾・友ぜん)  
村山 福蔵 (76) (赤倉・山田屋)  
本山 勝栄 (70) (崩田・はんにん)  
高橋銀太郎 (81) (中尾・柿の木)  
樋口 トラ (75) (兔口・南)  
飯塚 ワカ (58) (中立山・加吉)  
若井 トラ (87) (小谷・下越道)  
佐藤 トク (74) (曾根・沢)  
志賀 石蔵 (77) (松口・かじ屋敷)  
重野 一三 (74) (上蝦池・車や)

人口のうごき 男2,717人 (△75) 女2,839人 (△61) 計5,556人 (△136) 世帯数1,469 (△46)  
昭和53年5月1日現在 ( ) 内は前年同日比